

色彩学

BULLETIN OF THE COLOR SCIENCE ASSOCIATION OF JAPAN

VOLUME 2 NUMBER 1 2023



巻頭言 仕事は忙しい人に頼みます

—If we want something done, ask CSAJ members

理事・教育普及委員会委員長 渡辺 明日香 (共立女子短期大学)

2022年6月の理事会で理事に就任し、教育普及委員会の委員長になりました。色彩学会には、1995年に入会し、会員歴は28年です。教育普及委員会に関しては、松田陽子元委員長のもと、2010年から色彩学基礎講座(文化・芸術系)の運営の一部に携わりました。

現在の教育普及委員会は、下川美知瑠前委員長のご尽力により、2020年末に再スタートし、学会員サービス、学会の知的財産の保存、社会貢献を活動目的に掲げ、講座の開催、色彩データ・ライブラリ等のアーカイブ事業、展覧会と連動したイベントなどを実施し、色彩学会の活性化、収益改善に貢献してきました。今年度から委員長は交代となりましたが、委員には留任いただき、岩井彌氏・北口紗織氏・國本学史氏・篠田博之氏・高田瑠美子氏・高橋晋也氏・羽成隆司氏・眞鍋佳嗣氏・宮崎純子氏・山内泰樹氏・吉川拓伸氏・吉澤陽介氏・若田忠之氏・オブザーバー下川美知瑠氏の15名、多彩・多芸なメンバーで運営しています。主な活動内容についてご紹介します。

「色彩ハンドブック講座」

色彩学会設立60周年を記念して刊行された「新編 色彩科学ハンドブック」(2011年・東大出版会)のオンライン講座を2020年よりスタートし、若田委員・吉川委員を中心に、6回実施しました。豊富な資料、ハンドブックには掲載できなかったエピソード、講師の熱い語りに惹き込まれる講座です。第7回目は、3月18日、栗木一郎氏(埼玉大学)にご登壇いただき、第9章 2.4「色知覚の現象論的特徴」の解説講座を予定しています。ぜひご参加ください。

色彩データ・ライブラリのアーカイブ事業

学会員が作成した色彩に関する資料を学会内で共有し、自主学習や情報交換に役立てることを目的として、2021年からアーカイブ事業を行っています。発案者であり膨大な資料をご提供下さった名誉会員の永田泰弘先生のデータを、さらに利用しやすくなるよう、高橋委員を中心に、サムネイル化、リスト整備を進めています。

MIC・ICD企画

2018年に始まった『今年の色』を皮切りに、2019年からは、その年を代表する色(Most Impressive Color・MIC)を募集しています。現在は、MIC・ICD実行委員長である高田委員を中心に運営が行われ、2022年は「緑」に決定しました。

ICD(International Colour Day)は、AIC(国際色彩学会)が提唱し、世界中の昼夜の長さがほぼ同じになる3月21日を色彩記念日として制定されました。日本色彩学会では、2019年よりイベントを行っており、2023年は、3月21日開催、MICの受賞者発表、「平和と色彩」をテーマに、壁画アーティストのミヤザキケンスケ氏、名取和幸氏(日本色彩研究所)にご登壇いただき、特別企画を予定しています。奮ってご参加ください。

MIC歴代の色	年	決定色
第1回	2018	青・赤・グレイ
第2回	2019	黄檗染
第3回	2020	白
第4回	2021	赤
第5回	2022	緑

新企画「あたらしい色彩」講座

2023年度の新企画として、時代を読み解くキーワード&キーカーを学ぶオンライン講座「あたらしい色彩」を開催します。内容は、委員メンバーで鋭意検討中ですが、学会誌編集委員でもある國本委員を中心に、学会誌の特集との連動企画として「ジェンダーと色彩」の開講を予定しているほか、「推し色」、「メタバースの色」など、色彩の観点から、現在の事象を考える講座を計画しています。

If we want something done, ask CSAJ members

恩師であり名誉会員の城一夫先生は、「仕事は忙しい人に頼め」といつもおっしゃっておられました。大変幸いなことに、色彩学会は多忙な方の集まりです(!)。教育普及委員会の一層の事業の進展のためにも、皆さまのご協力をお願いします。